

【生薬名】 陳皮 *AURANTII NOBILIS PERICARPIUM*

【起源植物】 ウンシュウミカン *Citrus unshiu*



【科名】 ミカン科Rutaceae

【別名】 ●ミカン科植物の多くが漢方薬として使われる

◆温州ミカンの果皮－陳皮 ◆カラタチの果皮－橘皮

◆ダイダイ・ナツミカン－成熟果実：枳実、未熟果実：枳殻、

◆ダイダイの皮－橙皮、ユズの皮－橙子皮、

◆柑桔の皮－青皮、◆ザボン・ボンタンの果皮－橘紅

【薬用部分】 果皮

【主成分】 精油リモネン・シネオールなど、ビタミンP

【薬性】 気味は辛苦温、帰経は肺・脾に属す

【効能】 ●理気建脾、燥湿化痰

●健胃、整腸、止嘔、止吃逆、去痰、解毒の効がある

●理気作用があり、気が動かずにおこる、消化不良、食欲不振、
胸腹部の張りなどに効果的

●食べ過ぎ、胃のもたれに陳皮5gを煎服

●風邪の初期に、陳皮5g、おろし生姜、砂糖に熱湯を注いで飲む

●冷え性・温身には生のミカンの皮を風呂に入れて入浴する

【備考】 ●神農本草経には橘皮のみが記載、陳皮は後世使用されだす
橘皮の古い物を陳皮と呼ぶ様になったが現在では別物とする

●古い方がよい生薬(六陳のうちの一つ)

【処方例】 ●橘皮大黃朴消湯「食中毒の必須処方」

●二陳湯、六君子湯、温胆湯などは痰飲を改善する処方

【民間療法】 ●『和歌山のミカン生産者が発明した育毛ローション』
ミカン25個分の生の皮、清酒一升、1週間以上漬け込む
脱毛などに振りかけマッサージ、育毛にかなり有効